

## 日本の民族学研究と岡正雄—陸軍中野学校との接点

中生勝美 (桜美林大学人文学系教授) nakao@obirin.ac.jp

2016年7月23日 早稲田大学中野校 116 教室

### 1 はじめに

大日本帝国全体と、その外延に渡る地域の民族学、人類学に関する研究史  
大学院での研究、「あとがき」参照、中国農村慣行調査 → 法律学から人類学へ  
アパカ機関勤務経験者との出会い、モンゴルの回想録、今西錦司、磯野誠一との関係、特務機関と人類学の関係、NHK特集「アヘンと戦争」の取材協力、アパカ会資料

### 2 出版の経緯

#### (1) ライデン大学の計画「まえがき」参照

ブレーメン教授の誘い、ライデン大学の規則、未発表原稿の要求、核心部分の論文を発表できず。ブレーメン教授の死去に伴う変更

#### (2) 京都大学

2014年9月に授与された学位の論文、京都大学人間・環境学研究科 主査 田中雅一  
2016年3月出版

学位論文総評のネット公開、篠田統の孫からのクレーム、細菌戦と人類学

#### (3) 戦前の歴史と人類学者の活動

学史の素述ではなく、民族誌を歴史の文脈において解釈する手法  
方法論としてフィールドワーク、オーラルヒストリー、公文書、私文書、歴史文書の利用  
1990年代から継続した調査、戦前の研究者からの直接的な解説、遺族へのコンタクト、日本民族学会・文化人類学会での発表、弟子からの反応、記憶の断片をつなげる作業

### 3 岡正雄と中野学校

#### (1) 鈴木二郎の書評

中野学校に出講していた岡正雄へのあてこすり

民族研究所と戦争協力

『Front』編集の協力

#### (2) 中野学校の民族学授業

バルカンの民族関係 → 「対談 バルカンの内幕」

三井高陽 (1900-1983) の情報活動と岡正雄、ブダペスト大学講師、

東欧ファシズムの調査:「矢十字党」(Nyilaskeresztes Párt)、Kálmán Hubay (1902 - 1946)

#### (3) 「民族研究講座」民族研究所の公開講座

岡正雄「民族学概要」「ドイツ民族」ローゼンベルグ (1893-1946) とシュミット (1868-1954)  
の確執、ユダヤ人種政策

#### 4 「欧州に於ける民族研究」の検討

(1) 1938年から39年にかけて世界各地に派遣された民族学調査隊の動向

「ペトリのオーストラリア調査隊、ニグマイヤーのチモール島調査隊、ベルナチックのニューギニア及びタイ北部の調査隊、フェーラー・ハイメンドルフのビルマ・アッサム調査隊（インドにて捕虜）、チベット調査隊（SS所属の学者を以って組織）、シュエヴェスタのコンゴ調査隊、クリックベルクの中米調査隊」

(2) アーネンエルベ(Ahnenerbe)

親衛隊(SS)、Heinrich Luitpold Himmler (1900-1945)、東部総合計画 (Generalplan Ost)

1931年 親衛隊人種及び移住本部 (略称 RuSHA)

1935年 ドイツ先祖遺産、古代知識の歴史と研究協議会

(Deutsches Ahnenerbe - Studiengesellschaft für Geistesurgeschichte)

1938-39年 Ernst Schäfer, (1910-1992) 隊長、チベット遠征隊

⇒ Hitler's Search for the Holy, Channel5 (2013年11月20日放送)

岡正雄との接点? 日独文化協議会との関係

#### 5 結論

岡とナチス民俗学・民族学との距離、日本での民族学のインテリジェンス

#### 参考文献

芦田均・岡正雄

1941 「対談バルカンの内幕」『改造』昭和16年5月時局版

岡正雄

1935 「独逸に於ける民俗学的研究」柳田国男編『日本民俗学研究』東京：岩波書店

1941 「欧州に於ける民族研究」『改造』昭和16年年8月号

1943 「現代民族学の諸問題」『民族学研究』新1巻1号2

1981 「岡正雄氏談話」渋沢敬三伝記編纂刊行会編『渋沢敬三』下、渋沢敬三伝記編纂刊行会

クライナー

1979 「岡先生とヴィーン：学説の裏付け」岡正雄『異人その他』言叢社

2013 “Die Gruendung des Instituts fuer Japankunde an der Universitaet Wien” In : Ingrid Getreuer-Kargl und Sepp Linhart ed. : Die Republik Oesterreich und Japan waehrend der Zwischenkriegszeit 1918-1938 (1945)。Beitraege zur Japanologie Vol.42

Dirk Mahsarshki

nd “ The Ahnenerbe of the SS(1935-1945) : the think tank for Germanic supremacy”  
www.academia.edu